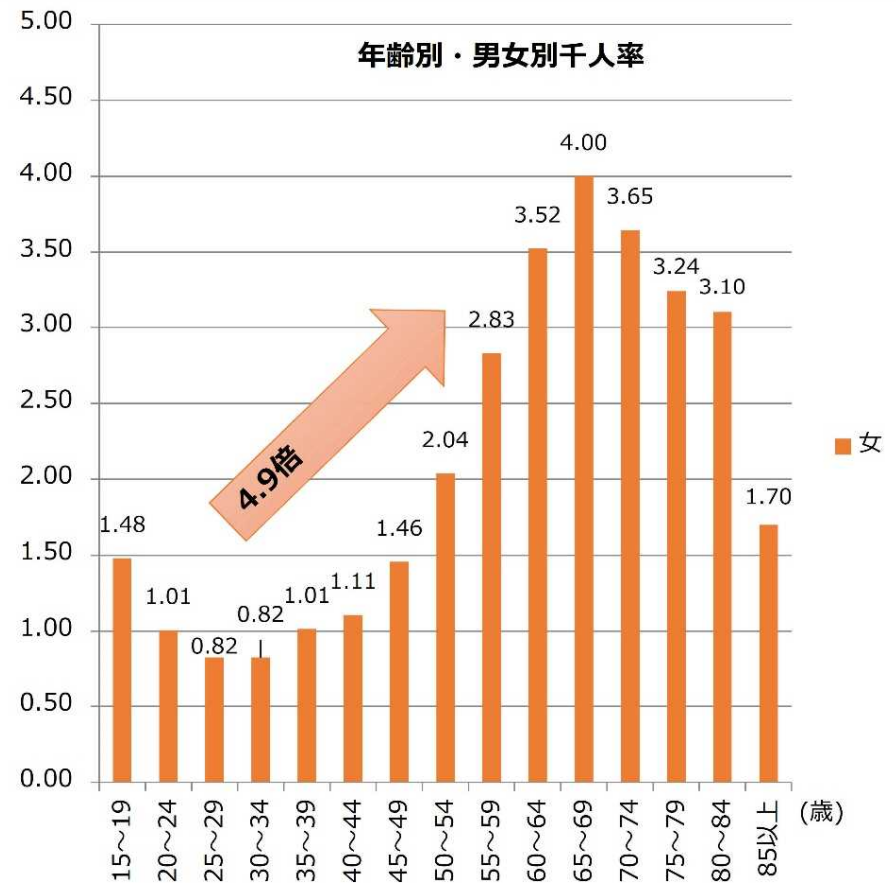
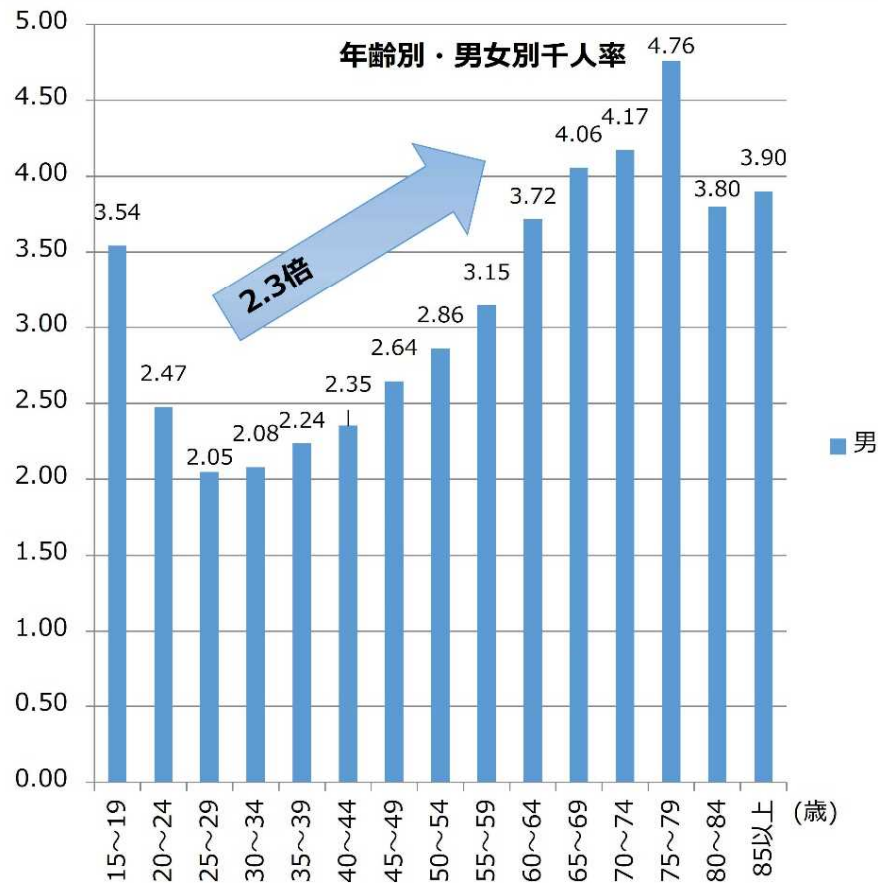


# 労働災害の発生率（年齢別・男女別 千人率）

- 災害の発生率（千人率）では、若年層と高年齢労働者で高くなる傾向がみられる。
- 発生率が最小となる30歳前後と比べると、70歳前後の高年齢労働者の発生率では、男性で2倍、女性で5倍にもなる。

※ 千人率（1年間の労働者1000人あたりの死傷者数） =  $\frac{1年間の休業4日以上の死傷者数}{1年間の平均労働者数} \times 1000人$



※便宜上、15~19歳の死傷者数には14歳以下を含めた  
労働者死傷病報告（平成30年）、労働力調査（基本集計・年次・2018年）

出典：厚生労働省提出資料（第1回人生100年時代に向けた高年齢労働者の安全と健康に関する有識者会議資料より作成）より倉林明子事務所作成